

Dedicated To International Peace and International Understanding

関西

学友会



2002



YO NE YA MA 18

ロータリー米山奨学生学友会（関西）は関西地区に居住する
米山奨学生OB及び現役奨学生の同窓会です。

目 次

あなたは奨学金をフルに使っていますか？	陳 麗華	・	P.1
21世紀に想う	近藤 雅臣	・	P.1
本年度 ロータリー米山記念奨学金の事業計画及び重点目標・強調点と課題	中澤 章好	・	P.2
こんな国際交流も	北里 桂一	・	P.3
「変わる米山～新制度」と共に	向井 菊美	・	P.4
米山奨学生に求められる優秀性	北川 哲	・	P.5
RI 2660地区RAC国内研修に参加する感想文	張 秋蘭	・	P.6
ユニバーサルスタジオ紀行米山学友会（関西）2001年度秋懇親会記	張 鑫隆	・	P.7
マハティール首相のルック・イーストと日本留学の真髓	莊 発盛	・	P.8

2001年度のテーマ『21世紀に伝えたいこと』

早川 由美 ・ | P.10 |

蔡 秀娟 ・ | P.11 |

アンディ・ウタマ ・ | P.12 |

李 健鵬 ・ | P.13 |

'01年度活動写真	P.14
'01年度米山奨学生学友会（関西）役員名簿	P.15
'00年度会計決算報告書	P.16
'01年度会計予算案	P.17
'01年度活動報告	P.18
会員の消息	P.18
2001年度会員名簿	P.19
相談コーナー	P.20
編集後記	P.21

表紙の絵

学友会のイメージに合うようにクラシック風で
勉学に使う道具を描いてみました。

米山奨学生OB 権 貴玉



あなたは奨学金をフルに使っていますか？

米山奨学生学友会（関西）会長
元世話クラブ：奈良RC

陳 麗華（台湾）

大阪産業大学非常勤講師

どんな奨学生でも奨学金のおかげで、生活が楽になります。特に米山の場合は多額ですので、思う存分勉強に打ち込むことも可能でしょう。しかし、もしそれだけで終わればあまりにも“能”が無さ過ぎて、もったいないと思います。改めて、原点に立ち、考えたいものです。

カウンセラーや世話クラブの方々と接するたびにより日本人を理解し、日本人の知恵を習得できれば、取りあえず、この奨学金は有効に使っていると云えましょう。私事で恐縮ですが、かの私はカウンセラーから日本人の心を教わっただけでなく、そのお家の料理の仕方から暮しぶりまですっかり身につけました。それが今も大変役に立ちました。

ところで、地区米山委員長によりますと近頃の奨学生選考会の面接では米山奨学金の起源を知っている留学生が多くなりました。誠に喜ばしい事ですが、一方奨学期間を終えると連絡がとれなくなる方も増えつづけました。ロータリークラブからいただいたご好意を皆の心の大きな支えとなり、新たなスタートに全力邁進に違いありません。皆さんもきっと私と同じように“いつか”恩返しができたらと思っています。しかし、ささやかな事ならすぐに実行できると思います。それは身近な国際親善です。特に米山学友ならば、米山梅吉先生のファンだけでなく、日本の良き理解者でなければなりません。幸い、一部の学友が既に奉仕の「花」を咲かそうと地域社会で積極的に国際交流を勤しみます。ある自称口下手の学友から「ありがとう」しか言えない代わりに留学先で役所と国際親善プログラムを携わっているのをお聞きして、これこそ奨学金をフルに使い、米山精神を貫く手本だと思っています。

お勧めの本

『社会貢献の先駆者米山梅吉』 戸崎肇 芙蓉書房

『で愛 ふれ愛 たすけ愛—Dr.アンディーとすてきな仲間たち』 アンドリウ・ウォン 草輝出版。



21世紀に想う

RI2660地区バスターガバナー

近 藤 雅 臣

千里RC

前世紀末、20世紀の反省と21世紀への展望、希望が熱っぽく語られ、みんなが何らかの期待感をもって2001年の夜明けを迎えたものでした。20世紀は戦乱や、憎しみ、貧困、差別、民族間の不和など人類愛そして心の欠除した世紀であったといえますし、それは物質文明優先の結末として現れてきたともいえます。このような事実を踏まえて21世紀にはこれらを改革し、平和で豊かな世界の建設へと向かう筈でした。ところが、今世紀の初頭に重大なテロ事件が起こり、それに伴う戦乱がはじまってしまったのです。まことに嘆かわしいことです。

自分達の思想、哲学のみを正義として他人の存在、思想、哲学を一切否定するもの達が、何の罪も無い一般人を一挙に殺戮し、多くの人を悲しみのどん底に突き落とした行為は断じて許すことのできない行動であります。しかし、一方では、このような人達の行動に口実を与えないようなことも必要ではないでしょうか。それは、貧困の救済、文化、教育の興隆援助、差別の撤廃、自由の平等享受など解決しなくてはならない多くの問題に通じるものといえます。ロータリーはこのような基本的で時間とお金のかかる問題を根強く支援すべきであり、人類すべてが自立のための教育が受けられ、少なくとも生きるための生活が保障され、努力をすればそれに見合う更なる豊かさの享受がある世界のために貢献すべきでしょう。今世紀中にそれが達成されればと祈ります。米山奨学生ならびに同窓生の皆様こそ国際的な活動を通じて21世紀に貢献すべき人材であり、世紀を担う頼もしい存在であります。他のロータリー関連青少年グループをリードしながらこれらの問題に取り組んで頂きたいものです。「憎しみは、憎み返すことによっては消え去るものではない、愛によってのみ消え去るものである」と生前私にいわれたジャヤワルデナ故スリランカ大統領の言葉を今思い出しています。

国際ロータリーは世界における親善と平和の確立に寄与することを目指しています。それを実行する手段のひとつとしてクラブ会員の善意の寄付金によって運営されているロータリー財団があります。その主な事業の一つとしてロータリー国際親善奨学金があり、ロータリー・クラブの所在する他国で勉学または研修を受ける留学生に授与されています。日本から諸外国へ派遣されて帰国した元留学生の同窓会として財団学友会があります。

一方、米山記念奨学会は国際ロータリーとは別に、日本のロータリーだけで行っている事業で、ロータリーの目的とする国際理解と親善を深めるために、優秀な在日留学生を支援することを理念・目的としています。留学期間終了後も日本に留まっておられる皆様の同窓会として、日本各地にロータリー米山奨学生学友会があり、活躍しておられます。

国際交流により勉学・研修を行っているロータリーのグループは他にも幾つかあり、それらの方々とのお付き合いを通しての私の感想と希望は、ロータリーに関係する諸団体の横断的な組織を造って、ロータリーの目的に添った活動が出来れば良いのではないかとということです。私の属している地区でもそのような声が聞こえますので、動きが起これば是非皆様にもご協力を得たいと考えております。



本年度(財)ロータリー米山記念奨学金の 事業計画及び重点目標・強調点と課題

R I 2660地区米山奨学委員会 委員長

中 澤 章 好
大阪住吉RC

平素は、米山記念奨学会に対して、温かいご理解と多大なご協力を賜りありがとうございます。本年度の(財)ロータリー米山記念奨学会の事業計画及び重点目標・強調点と課題をお知らせします。

<時代の要請に答えて>

混迷の度を深める日本社会のなかで、厳しい経済環境にも拘わらず、ロータリアンの国際奉仕事業として日本で勉学・研究に励んでいる米山奨学生への援助は続けられています。また、日本における民間最大規模の奨学団体として当会の責任と役割は益々重要となってきます。今年度は1000名の奨学生に対して奨学金の支給をいたします。これによって米山記念奨学金が設立されて以来、奨学金支給者数は累計で1万人を超え、国籍別では93ヵ国となりました。

た。日本で学んだ学問や技術が、米山奨学生をはじめ多くの留学生や研究者によって人類の発展と平和の創造に貢献されることを願っています。

<大学推薦制度の実施とカウンセラー制度の充実>

1999年度より試行期間を設け、13地区で実施してきた、大学が推薦し、各地区選考委員会が選考する大学推薦制度を、いよいよ今年度から全地区で実施することになりました。同時に、奨学事業の目的・使命の再確認、制度の改善、運営組織の見直しなどの課題に取り組んできました。

米山奨学事業の特性であるロータリー・クラブの人的資源を有効に生かしたカウンセラー制度を実施し、地域の状況に応じた対応、寄付金の増進と適正な管理をします。そしてロータリアンが主体的に参加し、国際奉仕を身近に感じられる奨学事業をするために一層の努力をいたします。

<重点目標>

1. ロータリーの奉仕の精神に基づいた国際理解と親善の促進。
2. 学業・異文化理解・コミュニケーション能力などを備えた優秀な奨学生・研究者の支援。
3. 母国に限らず国際社会で活躍し、世界平和の創造と維持に貢献できる奨学生の育成。
4. わが国の留学生事業の目標である「知的国際貢献」への協力と貢献。

<強調点と課題>

新しい大学推薦制度推進のために、各地区で大学の留学生奨学金担当者や指導教員、国際交流担当者との協力関係をさらに充実させます。また、地区と協力してカウンセラー研修の実施、海外学友会と共同で試行している渡日前採用制度（SY-A）の検討、ロータリー財団との連携した奨学金制度の検討、学友情報ネットワーク拡大、広報活動の強化、新しい功労者表彰制度など時代の要請に対応できる米山奨学事業を展開します。そして“新しい酒は新しい皮袋”で醸成できるように運営組織の刷新を図り、国際ロータリーの精神、米山記念奨学事業の根源に帰り、全国のロータリアンと共に新しい目標と課題に向かって前進します。

今後とも皆様の変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



こんな国際交流も

RI2680地区米山奨学委員会委員長

北 里 桂 一

伊丹有明RC

日韓美術交友会というプライベートな交流団体が発足してもう10年になります。この会の目的は相互に作品をもちよって展覧会をすることでしたので、展覧会の約束ができると各自が自作を手荷物にして往復するような状態で、それでも展覧会はインドや中国にまで展開することができました。

この会の日本側の責任者が鳥越清敏氏で、韓国側の責任者が金帆洙氏です。この二人は京都市立芸術大学日本画科を卒業した同窓生で、そして金帆洙氏が元米山奨学生だったのです。

金帆洙氏の留学の目的は韓国の国画である水墨画の中に、日本画の彩色技法を取り入れて色彩を復活させることでした。

そして、帰国した金帆洙氏は現在仏画の制作者として評判になっておりますし、またいくつかの大学で教えておりますので意欲のある留学生をおくりだすための相談役にもなっております。

2001年の展覧会は、ちょうど教科書問題等で文化交流が一番あやぶまれていたときでしたが、済洲文化振興院で大変な評判をよんで開催できましたが、これも金帆洙氏の実績があったおかげでした。

最近つくづく思っておりますことは、文化交流が国際交流の一番先駆けであるということです。

メセナ活動のなかにも芸術を専攻する学生や若い芸術家を支援する動きがでてきておりますので、米山奨学会にも提案していこうと考えております。

じつはこの日韓美術交友会のメンバーはいちおう京都芸術大学の日本画科の卒業生ということになっておりますので、会長は私が勤めております。

しかし、そのほかに芸術を専攻した米山奨学生はたくさんいるはずですから、今後はそのような人たちともいっしょに展覧会をしようと考えております。

こころあたりのある方はいろいろと呼びかけてみてください。



「変わる米山～新制度」と共に

RI2680地区米山奨学委員会学友担当

向井 菊 美

神戸東RC

米山記念奨学会では急激な経済・社会環境の変化に伴って奨学事業を刷新に着手した。「魅力ある日本留学」を目指してロータリーの理想とする国際理解と親善を深めて頂くために「変わる米山～新制度」と題して2002年4月からあらたなる奨学事業が展開されます。「大学推薦制度」はロータリアンと大学関係者とのパートナーシップの確立に重きを置いています。「優秀なる学生を支援」では事業の方向性が「救貧型学生救済」から脱却するようです。優秀なる奨学生とは学業面と共に「異文化理解」「コミュニケーション能力や地域交流・ボランティア活動」など複合的に関心をもち遂行努力する者で、奨学金は単に勉強・研究を奨学するだけに使われるものでなく、これらの活動のための費用としても、有効に使われることを望まれている。

将来、母国に帰り経済や産業その他の分野での発展に参画することを望まれる一方、地球市民社会の到来と言われる今日、日本で学んだ知識と技術及び人脈を生かし、職業を通じて、母国に限らず日本及び国際社会で平和の創造と維持に貢献することが望まれています。

米山カウンセラー制度についても、カウンセラー全員が専門の資格・訓練を受けた者でなくロータリアンの人生経験と知識を通じて奨学生に対応していたが、今後はカウンセラー研修会の開催などで充実を計っていくべきと検討されている。

ロータリアンの関心の中に、元奨学生（学友）の活躍状況があります。行政機関、教育・医療・福祉・環境・研究機関、民間企業など学友の活躍の場は時代の流れと共に母国に限らず日本や国際社会へと及んでいる。日本に19地区／地域に学友会が組織され、それぞれ親睦会・見学旅行や名簿作成など活躍されている。「変わる米山」を機会に学友会も従来の活動に限らず各種研究会や情報交換会の開催を望みたい。時折は多数のロータリアンや奨学生と共に情報交換・懇談会を開催して学友の関心を高め、活動参加者の増員と定着を期待します。

台湾と韓国に米山学友会が1971年と1979年に組織し活動している。両国在住の博士の学位をもち、大学・研究機関等で活躍している常勤の上級研究者で日本の大学・研究機関等において研究活動を行おうとする者を対象に（SY-A奨学金制度）、台湾・韓国の学友会が選考委員

を組織し、現地選考のシステムを確立し重要な役割を担っています。SY-A奨学生は2001年度に10名が採用され、当2680地区で台湾から董安琪さんを引き受けております。



米山奨学生に求められる優秀性

RI 2660地区米山奨学委員会学友担当

北川 哲

大阪南RC

このたび、「変わる“よねやま”～新制度」と題して2002年4月から新たな米山奨学事業が展開される事になりました。

ここでは、「米山奨学生に求められる優秀性」を説明致します。

米山奨学生に求められる優秀性

優秀性の基準を「①学業」の他、社会生活に求められる「②異文化理解、③コミュニケーション能力、④地域交流・ボランティア活動」を含める領域とする。これらの優秀性は、はじめから求められるのではなく、ロータリーの例会や活動の中で育成され、学生の自己実現の課程において成熟される性質のものである。

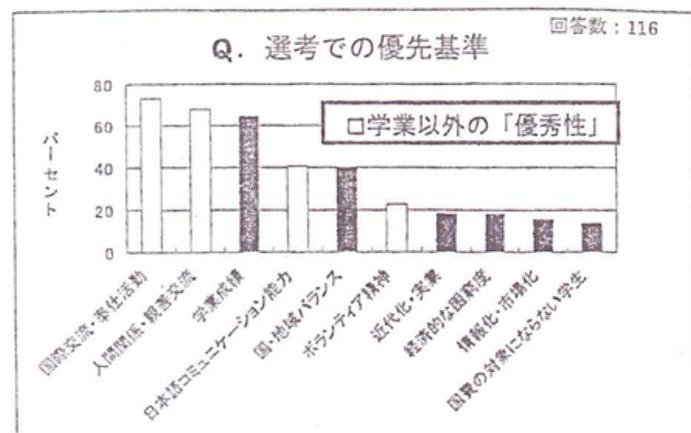
【解説：優秀性について】

米山奨学生に求められる優秀性を次のとおりとする。

- ① 学業
学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽を重ねてその成果をあげる努力をする。
- ② 異文化理解
異なる文化・宗教・習慣などを理解する努力をする。
- ③ コミュニケーション能力
言語のみならず人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。
- ④ 地域交流・ボランティア
社会参加の一つとして地域との交流やボランティア活動等に関心をもつ。

基準調査では「米山奨学生選考の優先基準」についてロータリアンがどのようにとらえているかを質問してみた。その結果、「国際交流、奉仕活動、人間関係、親善交流」など、学業以外の多様な面での優秀性に多くの支持がある、理想とする優秀性が知的領域から複合的領域へと拡大、変容していることが明らかである。(右グラフ参照)

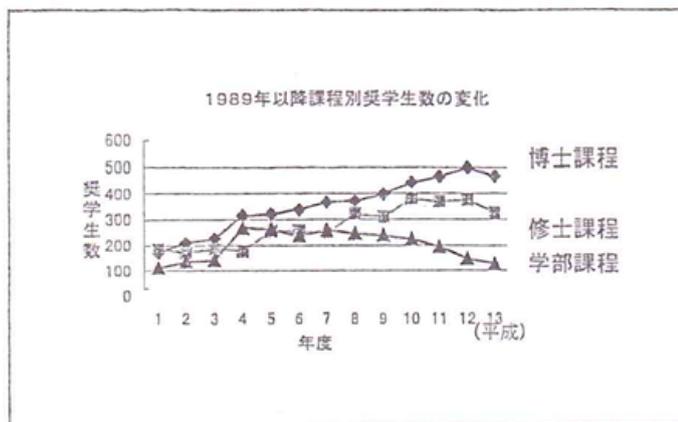
また、このような優秀性は、はじめから求められない場合もある。仮に、地区選考委員会で選ばれた米山



ロータリアン対象アンケートより/米山奨学事業基礎調査 (1999年8月実施)

奨学生がロータリーに関する知識が浅く、あるいは奉仕に対する関心が低くとも、そのような学生をふさわしい在り方に育て、導くことも米山奨学事業のひとつであり、世話クラブ・カウンセラーおよびロータリアンの役割である。

なお、最近の傾向として課程別奨学生数において、博士課程在籍者が増加し、学部課程在籍者が減少している。これは、博士課程在籍者ほど留学の目的が明確である点や、専門性を含む研究に選考の視点がむけられていると考えられる。



ロータリアン対象アンケートより/米山奨学事業基礎調査 (1999年8月実施)



R I 2660地区RAC国内研修に 参加する感想文

元世話クラブ：京都西RC

張 秋蘭 (台湾)

京都大学博士課程

11月24及び25日国際ロータリー2660地区ローターアクト (以下RAC) は石川・富山両県で国内研修を行いました。私は米山学友の一員として参加させて頂き、大変感謝しております。この2日間で、2660地区委員長の石田さんと岩津陽介さんを含む21名のRACメンバー及び中国留学生の孫さんとモンゴル留学生のミンジンさんと一緒に、金沢・富山で更に2610地区RAC数十名の方々と素晴らしい交流をしました。ところで、私は2000年から2001年9月まで、米山奨学生として、2650地区京都西RCで大変お世話になっていましたばかりです。

さて、交流研修でまず、金沢市で市内散策し、2610地区のRACメンバーと合流し、研修全員を4班にわけて、観光ボランティア「まいどさん」に案内され班別行動をした。この班別行動は留学生の私にとって、晩秋の城下街金沢が丁寧に語られたことがありがたく思います。石川門や兼六園などのご紹介は勿論ですが、観光案内書に載せていない主計町茶屋街の裏話も格別に感じます。茶屋街の沿革をうかがった後、170年歴史を持っている懐華楼を上がって見学することができました。茶屋女主人は、とても早口で金沢市茶屋の歴史、茶屋と顧客との保証付きの取引関係、客のための各小部屋の設計の用意、芸妓の育成など等、茶屋業界の裏話を教えてくれました。これを聞いて、何となく京都の祇園を思い出した。なるほど、金沢はよく「小京都」だと言われました。

続いて、二つ目のイベントは、メインの懇親会でした。お料理は美味しかった上に、地元親睦会も大変賑わって、実はこのような若者の親睦会は留学生活で初体験でもあり、面白かったです。私にとって非常に貴重な体験で楽しい思い出ばかりでした。

最後に述べなければならないのは、高岡市の国宝瑞龍寺での見学のことです。瑞龍寺の住職及び2610地区のバスターガバナーである四津谷道昭さんは軽快な口調で当時瑞龍寺と建造物を復元するとき、いろいろな工夫について詳しく説明されました。又、瑞龍寺全体の建造物と大工の神技も丁寧に面白く紹介されました。とくに、なぜ瑞龍寺が国宝の重要文化財に指定されているか。四津谷さんは要因を一々と手振り身振りで説明されたおかげで、なるほどうなづけました。今度、京都のお寺を案内するとき、私も、このような説明を真似し、お寺

の建造物（特に門の木に特殊な紋様や瘤などが現れるか）の工芸を友達にみつけさせたいと思います。また、今回のように日本の伝統文化を深くふれあうことができ、すばらしいチャンスを与えてくださって誠にありがとうございました。



ユニバーサルスタジオ紀行 米山学友会(関西)2001年度秋懇親会記

元世話クラブ：高槻RC

張 鑫隆 (台湾)

京都大学大学院助手

*出発

天気にも恵まれた、爽やかな2001年10月27日土曜日。

午前7時に米山学友会(関西)の秋懇親会に期待してきた私たち3人家族（妻と後10日で3歳になる娘）が京都からはじめてのUSJに向かって出発。京阪電車の中で昨夜ホームページで調べたUSJの攻略法の資料を勉強し攻略の手順を決めておいた。とはいえ、穏やかな土曜日の混雑を覚悟で、勇んで旅に出た。

*集合

さすがに土曜日、8時ちょっとすぎにUSJ正門前すでに長蛇の列。正門前に元気そうな荘発盛さん夫婦と1歳のお子さんに出会った。集合地の正門前の混雑状況を心配したところ、陳会長と権幹事長が私たちの前に出た。陳さんと権さんの子供も来られたので、活発な子供に囲まれて幼稚園の遠足みたいだった。やはり、今回の企画は、子供に対する陳さんと権さんの気持ちによるものではないか。

*キャラクターたちとの出会い

さっそくチケットをもらって入場した。正門に入ると、ウッディー、チリー、スノーピー、チャーリーブラウンなどのキャラクターたちが迎えに来た。ちょっとだけ写真を撮ってからさっそく攻略のスケジュールに入ろうと思ったが、娘のユリはキャラクターたちが気に入り、行きたくなくなっちゃった。そのため、自信満々の攻略スケジュールは、始まる前にすでに乱れることになった。

*ショーとアトラクションを楽しむ

小さい子供には乗れないものがあることが知らなかったので、せっかく「UNIVERSAL EXPRESS」予約の列を並んでいたことが無駄になった。ほかの乗り物の予約もすでに終了してしまったので、自力で並ばなければならない。とりあえず、午前中は待ち時間がいない、子供に大人気のあるアニマル・アクターズ・ステージなどのショーを楽しめた。結局、昼食ま

で乗り物は一つもできなかった。

*懇親会

皆さんが各自園内で楽しむことは、今回の懇親会のプランの1つであるが、更に昼食に、一同を集めて交流を深めることができた。懇親会は、園外のカラフルな色彩とポップアートで構成されたアメリカンテイストあふれるカジュアルレストランの「イーポック」で行われた。洋風、和風、中華風と様々な料理が勢揃うバイキングをいただいたあと、自己、ファミリー紹介及び午前の攻略戦果でムードが一気に高まった。午前中に3つの乗物をクリアした人の話を聞いて再挑戦の気が湧いてきた。

*再挑戦

午後になっても人気のある乗物の長い列は依然のまま。長い待ち時間にいらいらしやすい私は、やはり列に並ぶ必要のないショーを楽しんでいた。夕方ごろ、思い切って待ち時間1時半のウォーターワールトの長い列に挑戦した。ショーは狭い水面をボートやウォータージェットが走り回って、かなりの迫力があり、また飛行艇が着水するところは映画並みの迫力を体感した。役者もなかなかの演技で楽しいショーだった。

最後は大人気ショー「ハリウッドマジック」を一番前でみるために、簡単な夕食を終えて1時間前から並んでおいた。しかし、娘が待ち切れずに開演の直前に寝てしまった。時間になると、USJの中央にある大きな池に浮いた舞台の上で華やかなダンス、花火、噴水、ライトアップなどの幻想的なイメージを通じてユニバーサルスタジオの主な映画を時代とともに紹介してくれた。途中でラゲーンを恐竜などが走り回ったり、ビルには大きいキングコングが登場したりした場面が感動のシーンだった。

「ハリウッドマジック」が終わって娘がまだ寝ていたので家内と交替で1時間の待ち時間で「ジュラシック・パーク・ザ・ライト」を楽しんだ。閉園の直前にジョーズも楽しんだ。ちょっと疲れたが、家族皆は楽しかった一日を過ごした。

翌日、映画ファンの陳会長からのメールで、「娘たちと閉園ぎりぎりまで遊んできたが、まだ乗り切っていないので、今度「家出」するとき、USJへと密かに決めている」って！



マハティール首相のルック・イーストと日本留学の真髓

元世話クラブ：京都山城RC

莊 発盛 (マレーシア)

大阪大学大学院経済学研究科 博士課程

去年の一月末に、わが国のマハティール首相が日本訪問に来られたときに、大阪のリーガ・ロイヤル・ホテルでお目にかかりました。首相は昔から掲げたルック・イースト政策について語り、私に多くの反省の機会を与えてくださいました。

戦前、マレーシアはずっとヨーロッパの国に支配されてきました。マレーシアだけではなく、アジアにおいて多くの国は欧米に支配されていました。そのとき、若きマハティール首相はいつも思っていたのは、なぜアジアはこんなに弱いのかということでした。マレーシ

アにおいて、特にイギリスはいつもマレーシアに対して保護の名目で支配の正当化をしていました。そこで、第二次世界大戦のときに、日本はマレーシアに上陸した際、イギリス軍はマレーシアを保護するどころか、真っ先に逃げて行ったのを若きマハティール首相が自分の目で見えていたといえます。日本は敗戦後にイギリス軍はたちまち再びマレーシアに戻って支配しました。そんな中で、若きマハティール首相が思ったのは、日本人にできることは、なぜわれわれにできないかとのことでした。もちろん彼は軍事力のことを言っていたわけではありません。彼が言いたかったのは、アジアが弱いのは、アジアが自分自身を弱くしてしまうだけだということです。日本人は何か重要な要素を持っているはずだと彼は思いました。戦後、日本はマハティールが予見したかのように、その重要な要素を持ち合わせて、ほとんど何もなかった状態からすさまじい経済発展を成し遂げてきました。今や世界の頂点に立っています。

では、その重要な要素とは、何でしょうか？マハティール首相は考えました。その重要な要素を持っていれば、日本にできることは、われわれにもできるはずです。マハティール首相は見極めていました。確かに自国には、怠け者、忍耐力のない、自分のことしか考えていない、目先の利益にしか目がない、ものを大切にしない、奉仕精神がないなど人間として重要な要素を持っていなかったです。そこで、ルック・イースト政策が誕生のひとつの理由にもなったわけです。しかし、日本にいる留学生である私たちは、その政策の真髄をよく知っておかなければなりません。私たちは単に知識と技術について日本に勉強しにきたわけではないです。知識だけであれば、わざわざ日本に来る必要はありません。もっと他の国にいてもよいわけです。知識だけを手に入れても、必ずしも人のためになるとは限りません、場合によっては、逆にその知識をもって社会を破壊させることもできます。日本も同じように、経済発展を成し遂げたのは、知識だけではなかったです。もっとも重要なのは、「精神」なのです。首相が留学生であるわれわれに期待しているのは、むしろ日本人のその「精神」です。日本人の伝統的な勤勉さ、忍耐力、思いやり、物を大切にすることと希望を持つことなどです。しかし、マレーシア人には、「希望」持っているというより、むしろ「期待」しか持っていないです。「希望」というのは、忍耐して望むことです。「期待」というのは、何もしないで時を待つことです。幸せになるためには、われわれは期待するより、希望を持つべきです。日本はまさにこういう重要な要素を推進力に、それから知識を道具に経済発展を成し遂げてきたのではないのでしょうか。

一方、最近ではマハティール首相は少しつつ日本に対して失望し始めています。日本の今の不景気は、主に日本の推進力になっていたそれまでの伝統的な素晴らしい精神をあえて捨てて、欧米の真似をしはじめようとしているからであると指摘しています。日本はもう一度原点に立ち、未来を見極めなければならないのではないのでしょうか。われわれマレーシアもこれから日本にあった素晴らしい「精神」を大事にしていきたいと思えます。

2001年度のテーマ 「21世紀に伝えたいこと」



元世話クラブ：大阪大手前RC

早川由美 (ブラジル)

トレーサー 自営業

私がロータリー米山記念奨学会と大阪大学の先生達のおかげで修士を卒業することができてからもう20年がたちました。このふたつ（ロータリーと大学の先生たち）がなかったら、私の日本での勉強はとても難しいものになっていたでしょう。

留学中は国の習慣がちがうので、困った事もよくありましたし、外国人を理解できる人も少なかったです。親切な人もいましたが、からかったり非難する人もいました。

でも日本の大学は機材と本が豊富にそろっているので、勉強がはかどりました。自国では得られない研究が積めたと思っています。また先生から指導もうけたので、だらだらした学生気分はなくなりました。まさに先生たちのおかげでした。

日本では計画してすぐ実行に移るので、物事が進むのが速いと思います。でも、日本語が日本の学生のペースについていけなかったので、とてもくやしく思いました。私が1ページを読んだところで、むこうはもう5ページでがっくりとききました。やっぱりいい大学の学生は優秀で個性が強く、研究となると、ついて行くのには大変でした。台湾の留学生もすごく勉強するのでびっくりしました。何でブラジルでの大学時代にもう少し勉強しなかったかと後悔しました。

その後、帰国して、またブラジルの習慣に慣れなくてはいけなく、家に入る前に靴を脱いでしまったり（靴のまま家にはいるので）、挨拶するのに頭をさげてしまい、（向こうは握手、親しい場合はフランス式のキスです）なおるのに一年かかりました。ポルトガル語もまたもとのようにしゃべれるようになるのには2年かかりました。

就職も当時は景気が悪かったので（今もですけど）なかなか見つからなく、やっと見つけたと思ったら、結婚のため退職で、その後、日本に戻って来ました。出産、仕事復帰等、色々なことがありました。女性なので、活動範囲は男性ほどではないですが、何とか建設の分野で顔面をかきながら頑張っています。

若い時は夢いっぱい大きな事をやりたい気持ちでいっぱいでしたが（巨大な設計計画をすとか）、年月が過ぎると、今は自分の将来がどんなものか、だいたい見当がついてきます。

今、この文を読んで頂いている皆様に申し上げたい事は、地道にあせらずに物事をやっ行くのが一番ではないかと思っています。あまり急ぐと、失敗のもとになるので、一回失敗をすると物事をとりもどすのが大変なので、よく考えてから行動に移ったほうがいいです。



元世話クラブ：西宮甲子園RC

蔡 秀娟 (台湾)

通訳

人間としての誇りを失わないで

2001年を振り返ってみれば、正しく21世紀の激動の幕開けの1年であった。日本国内では、1月6日の中央省庁が「1府12省庁」に再編され、4月に小泉内閣が発足し、「構造改革」を目指し、道路特定財源の見直しや郵政3事業の民営化など7つの改革プログラムを「経済財政運営の基本方針」に盛り込んで、人々の新しい日本への関心と期待を喚起して日本の21世紀のスタートを切った。ところが「構造改革」に対する「抵抗勢力」が言葉通りに存在している。自分達だけの利益を守り通そうとする者もいれば、そうでない者もいる。というのは、こう言った「抵抗勢力」を目的別によって二分類することができる。一つは自分達だけの利益を最優先にしているグループである。もう一つは与党の政権の暴走を食い止める使命感から、反論をするグループであろう。何しろ国はその国民皆のものであるから、前者には賛同しないが、後者は議論を通じて、プログラムをよくしてくれる働きをするから異議はない。誰にも自分の国を愛する気持ちがどこかにはあるはずである。だから、国の政策などの議論をする前にもう一度国を思う気持ちを思い出してからした方が良いかも知れない。

正確に言えば、宗教は元々人間が作り出したものである。本来ならば、「宗教は人間の、人間による、人間のための宗教」であるべきだ。2001年9月11日にアラブ人らに乗っ取られた民間機が米ニューヨークの世界貿易センタービルとワシントン郊外の国防総省ビルに激突した同時多発テロ事件は未だ記憶に新しい。人間は社会生活をするには法律や国際条約などの約束を守らなければならない。同じこの地球に生まれてきた人間だから、誰にも生きる権利があるはずだ。と同時に誰にも人の命を奪う権利はない。若し本当に神様が存在するならば、神様もそのようなことを許さないはずだ。宗教の原点に戻ってみれば、もしそれを許す神様であれば、もはや、その神様は神様ではなく「悪魔」そのものとなるだろう。宣教という手段もあるが、しかしそれは決して暴力で人を信じさせることではない。

ここで指摘したいのは 映画「猿の惑星」と違って、現在この地球の支配者は猿ではなく人間であり、思考力、想像力、知性等々優れた能力を用いて自然と戦い続けてきた人間がやっと手に入れた幸福を自らの手で破壊しつつあるのも現状である。民族間の紛争、内戦、暗殺、そして国際テロ、世界大戦を経験してきた人類はいったい「誰」が「何のために」いわば「戦争」を起こしたのか。本当に不可解に思う。恐らく人間が、取り巻かれた環境、つまり育った環境にその考え方、行動パターンを大きく左右されるだろう。だから、家庭教育は人間社会にとって最も重要な役割を占めていることは言うまでもない。忙しい現代人には家庭教育に関するサポートシステムも必要になってくるだろう。多発する青少年犯罪の一步前に青少年問題になっていたはずなのに、誰もそれに気付き抑止することすらできなかったことは何故なのかわかると思われ、家庭教育がその重要さを増す一方である。児童虐待、援助交際、若者の覚醒剤使用などの事件が家庭教育の見直しの必要性を物語り、その改善の具体策を迫ってくる。

又、これらの問題の他に世界的な大問題がある。それは全人類にとって一番身近な「環境破壊」問題である。フロンガスによるオゾン層の破壊で皮膚癌が急増する。化石燃料の使用によって、大気汚染、地球温暖化が進む。地球上の酸素の約三分の一にかかわっている「地

球の肺」とも言われるアマゾン、熱帯林が減少し続ければ、やがて砂漠化すると推測されている。頻発する異常気象、エル・ニーニョが発達する度に、日本で集中豪雨の被害が出る。産業廃棄物、原油の流出による海洋汚染で赤潮が大発生する。等々の環境問題が深刻化している。熱帯林は、今、一日に約4万7千ヘクタールの勢いで失われている。これは琵琶湖の面積、又は東京23区の三分の二にあたる広さである。そして毎年世界では600万ヘクタールの土地が砂漠化している。同じ人間であれば、「持ちつ持たれつ」をモットーに手に手をつないで、助け合い、この母なる青い地球を守っていかうではないでしょうか。



元世話クラブ：大垣RC

アンディ・ウタマ(インドネシア)

研究員

世界平和への願い

日頃、テレビを見ると「テロ」、「報復」、「戦争」といった極めて暴力的な言葉ばかりが聞こえてくる。新聞や週刊誌を読んでも同じである。私はテレビをつけるのも新聞を読むのも嫌になるくらい明るいニュースがない。なぜこのようになってしまったのだろうか。特に世界貿易センターへの攻撃を機に世界は益々混乱状態に陥ったような気がする。世界貿易センター攻撃では一般市民が犠牲になっている。その報復とタリバン勢力撲滅のため、アメリカはアフガニスタンを空爆し、誤爆によってまたもや一般市民が犠牲になっている。更に、イスラエルはテロの報復処置としてパレスチナを空爆し、ここでもやはり多くの一般市民が死亡している。いずれの事件でも、結局は罪の無い一般市民が犠牲になっている。これらのテロと報復によって一般市民が巻き込まれることは避けられないことは誰もが知っているはずである。報復がある限りテロが終わらないこと、逆にテロがある限り報復が終わらない事もみんな知っている。それでもテロと報復、または戦争や紛争は世界の何処かに続けて起きている。この現実を見ると、文明が発達した現代に生きている私たちがやっていることは野蛮といわれる昔の人々がやったこととは何ら変りがない。それどころか、私たちはそれ以上に野蛮かもしれない。というのは、科学技術進歩によって我々は高度な化学兵器や核兵器、または生物兵器を開発することが可能になった。これらの兵器を使用することによって目的を一瞬に破壊してしまい、また人々も一瞬に殺してしまう。本来、科学技術の目的は社会に豊かさをもたらすことであるが、使い方によっては社会に不幸をもたらすこともある。社会に不幸をもたらす使い方も少なくない現実を見ると、非常に残念に思う。

世界中の人々は戦争や紛争を望んでいるものは恐らくない。みんなは平和を望んでいるはずである。特に戦争や紛争を体験している人々はなおさら平和を願っている。それにも関わらず、なぜ戦争や紛争、またはそれに発展するまでのテロや報復が起きているのだろうか。テロの原因の一つは貧富の差にあると考えられる。自由社会の中で、富獲得の競争も自由であるため、競争力のある人はどんどんお金持ちになる一方、弱者は競争に敗れ、貧困になってしまう。そのため、貧富の差が益々広がってしまう。競争の自由社会では、自分が競争に勝つために競争相手を倒すことを考えているので、これは結果的に自己中心あるいは個人中心の社会を生み出してしまふ。貧困に苦しんでいる人々は暴動やテロに走ってしまうと考えられる。自己中心ではなく少しは他の人のことも考えてあげれば、こういう問題は解決で

きると思う。つまり、お金持ちの人々や国は貧乏の人々や国に手を差し伸べて行けば貧困の差が埋まって行って、最終的に世界の平和につながっていくと考えられる。

もう一つのテロの原因はグローバル化のあり方にあると思われる。グローバル化は、みんな同じ考えを持ち、同じ言葉で話しをするというふうに考えがちののだが、そうであれば間違いなくグローバル化は実現できない。自分の家族の中でも同じ考えを持たせるのが難しい。同じ地域でも同じ考えを持たせるのがもっと難しくなる。国家レベルになると更に難しくなる。従って、世界中の人々は同じ考えを持たせるのが不可能であろう。本来のグローバル化は個人・国家または宗教的な考えを認め合い、尊重し合い、共存することだと私は思う。現代社会は自由社会であるのなら、自分の考えや信仰を持つのも自由であるはず。しかしながら、現実として今進められているグローバル化は個人・国家または宗教的な考えを全く無視しているため、自由という社会の権利は守られていない。そのため、自分の自由が脅かされている人々はそれに反発するのは当然である。従って、平和を実現するためにお互いにそれぞれの考えを認め合い、尊重し合うことが最も大切だと思う。それは勿論私たち一人一人がそう考えて、実行しなければならない。最後に「来いよ！平和を！」と願いたい。



元世話クラブ：岡山西RC

李 健鵬 (香港)

貿易 会社員

ロータリークラブのお世話になり、岡山大学を卒業して以来、神戸で水産物を主に食品の輸出入の仕事をしています。2000年には日本人である妻との間に長女も生まれ、地域の方々にしっかりと見守られて、すくすくと育っています。

日本人の温かさは十分知っているつもりでしたが、日本には私の知らない良いところがまだまだあると、子供と出かけるたびに感じます。娘は先日、「ありがとう」という美しい感謝の言葉を覚えました。私は「謝謝」という中国語をひとつ教えてやりました。

現在、中国では、未来は絶対良くなると信じて懸命に働く人々、希望に満ちた目を輝かせた子供達の姿がどこでも見受けられます。日中両国がお互いに感謝と思いやりの気持ちを忘れなければ、日中の交流はますます盛んになり、必ずや良い方向へ進んでいくでしょう。そうなることを心から願っています。

日々、感謝の気持ちを忘れることなく、それが21世紀の社会に一番必要なものではないか、と思います。





総会にて



役員会にて

2001年度米山奨学生学友会(関西)役員名簿

2001年12月21日現在

会 長	陳 麗華 (杉本麗華) 大阪産業大学教養学部講師 〒555-0001 大阪市西淀川区佃5-12-5-905	[奈良R.C.] ☎・FAX: 06-6477-3240 (H) E-mail: bfath612@cow.zaq.ne.jp
幹事長	權 貴玉 アトリエ四季 〒611-0013 宇治市菟道池山64	[園部R.C.] ☎: 0774-23-8471 (H) FAX: 0774-20-4587 (O)
副会長	D-2660 張 航飛 大阪魚市場(株) 〒553-0002 大阪市福島区鷺州3-1-3-808	[長崎中央R.C.] ☎・FAX: 06-6452-9562 (H) E-mail: k-cho@uoichi.co.jp
	D-2680 王 充志 会社員 〒659-0065 芦屋市公光町2-10	[西宮甲子園R.C.] ☎・FAX: 079-722-8405 (H) E-mail: oh-jucy@gem.hi-ho.ne.jp
相談役	重光世洋 大阪産業大学工学部教授 〒630-8054 奈良市七条西1-11-19	[大阪R.C.] ☎: 0728-75-3001 Ex3711 (O) 0742-44-5004 (H) E-mail: shigemits@ce.osaka-sandai.ac.jp
相談役	清河雅孝 京都産業大学法学部教授 〒607-8418 京都市山科区御陵牛尾町72-7	[京都東R.C.] ☎: 075-594-2029 (H) FAX: 075-594-5249 (H) E-mail: kyomark@cc.kyoto-su.ac.jp
顧問	林 錫璋 桃山学院大学経済学部教授 〒593-8327 堺市鳳中町8-284-7	[名古屋西R.C.] ☎・FAX: 0722-62-4633 E-mail: kenji@andrew.ac.jp
会計監査	莊園福松 税理士 〒530-0014 大阪市北区鶴野町4コーポ野村梅田A216	[神戸R.C.] ☎: 06-6375-1070 (H)
学術	呉 賢龍 甲子園大学経営情報学部教授 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1-6-20	[堺東R.C.] ☎: 06-6301-3358 FAX: 06-6300-5271 E-mail: otsukakr@osk2.3web.ne.jp
書記	ビラル, イリヤス 立命館大学経済学部講師 〒606-8874 京都市壬生天ヶ池40番地MNS天ヶ池204	[京都北東R.C.] ☎: 075-802-0667 (H) E-mail: bilal@ac.ritsumei.ac.jp
会計	張 鑫隆 京都大学大学院助手 〒606-8202 京都市左京区田中大堰町88-5	[高槻R.C.] ☎・FAX: 075-724-4869 (H) E-mail: dium@geocities.co.jp
会計	張 航飛 大阪魚市場(株) 〒553-0002 大阪市福島区鷺州3-1-3-808	[長崎中央R.C.] ☎・FAX: 06-6452-9562 (H)
会計	李 麗兪 中国語教師 〒547-0034 大阪市平野区背戸口15-3-11	[奈良R.C.] ☎・FAX: 06-6704-9895 (H)
親睦	福山嘉一 朝盛国際有限公司 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町124-307	[奈良R.C.] ☎・FAX: 078-413-9473 (H) E-mail: asamori@f6.dion.ne.jp
国際交流	豊田秋雄 豊田歯科 〒565-0061 吹田市円山町15-28	[大阪西南R.C.] ☎: 06-6330-3555 (H) FAX: 06-6302-1244
会報編集	莊 発盛 大阪大学大学院経済学研究科博士課程 〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮4-23-22-902	[京都山城R.C.] ☎: 06-6913-7913 (H) FAX: 020-4668-1960 E-mail: chongfattseng@srv.econ.osaka-u.ac.jp
会報編集	段 煥祥 (株)近畿製作所 〒547-0033 大阪市平野区平野西5-9-25-601	[金沢東R.C.] ☎: 066790-1969 (H) E-mail: wooncheong777@hotmail.com

ロータリー米山奨学生学友会（関西）
2000年度会計収支決算報告書

自2000年4月1日
至2001年3月31日

収入の部		
科目	金額	備考
前年度繰越金	770,836	
運営費補助費	397,374	
会費	62,000	*会費 @2,000円×31名
總會参加費	288,000	
秋懇会親参加費	121,000	
秋懇親会補助金	110,000	
寄付金	20,000	
利息収入	538	
総計	1,769,748	

支出の部		
科目	金額	備考
運営費	393,842	
交通費	56,130	
会報作成費	253,365	
總會費用	403,050	
秋懇親会費用	319,320	*大和銀行住道支店 3,519円
通信費	168,339	三和銀行梅田支店 111,150円
手数料	840	郵便貯金 18,742円
次年度への繰越金	174,862	現金（手元有高） 41,451円
合計	1,769,748	

次期繰越金は上記の通り保管されています。以上御報告申し上げます。

2001年4月15日

会計 張 航飛

【会計監査報告】

会計監査の結果、収支決算報告は適正と認めます。

2001年4月15日

会計監査

莊園福松

押印

ロータリー米山奨学生学友会 (関西)
2001年度会計予算 (案)

自2001年4月1日
至2002年3月31日

収入の部		
科目	金額	備考
前年度繰越金	174,862	
運営費補助費	400,000	
援助交付金	200,000	
会費	80,000	*会費 @2,000円×40名
総会参加費	300,000	
秋懇親会参加費	120,000	
総計	1,274,862	

支出の部		
科目	金額	備考
運営費	400,000	
交通費	20,000	
会報作成費	200,000	
秋懇親会費用	200,000	
総会費用	400,000	
通信費	50,000	
次年度への繰越金	4,862	
合計	1,274,862	

以上御報告申し上げます。

2001年4月15日

会計 張 航飛

米山奨学生学友会（関西）

2001年度活動報告

内 容：自由行動、懇親会

1. 主な行事

A. 2001年度総会及び新規奨学生歓迎会（見P14）

日 時：2001年6月3日（日）

場 所：大阪国際交流センター

参加人員：ロータリアン 20名

OB会員 27名

新規・継続奨学生 25名

内 容：役員紹介、新規奨学生歓迎会、懇親会

B. 学友会秋の懇親会（見P8）

日 時：2001年10月27日（土）

場 所：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

参加人数：OB会員 11名

OB会員家族 20名

2. 役員会

A. 第1回、2001年4月22日（日）

京都こども未来館にて

内 容：新役員紹介、6月に開く総会の役割分担及び会報17号をOBに分配

B. 第2回、2001年9月15日（土）（見P14）

多幸梅（大阪市）にて

内 容：秋懇親会の事前報告・準備

C. 会報編集会議数回

昭文堂印刷㈱（大阪市）にて

内 容：会報18号について

会 員 の 消 息

- 関春玲氏は2000年に長女鳳美さんが生まれました。今子育てで精一杯です。
- 李健鵬氏は1998年12月26日に結婚し、2000年9月12日には長女が生まれました。
- 朴美京氏は2000年3月に大阪大学より工学博士学位が授与されました。
- 青田一夫氏は平成13年5月から東京に転職することになりました。大阪に2年間の間に、関西学友会の活動に参加させて頂きました。感謝しております。これからも関東の学友会に参加するつもりです。皆様のご活躍をお祈りいたします。
- 梁栄友氏は2001年4月から湊川女子短期大学の非常勤講師として採用されました。（留学生のために日本語担当）
- 張東君（張瓊文）氏は訳本「超想知道疑問排行榜」（威力）2001年1月出版、「暴風雨中的動物生活」（皇冠）2001年5月出版、著書「動物勉強学堂」（皇冠）2001年6月出版。以上全て中文で、張東君の名で出版。
- バハアドル、サルダール・カーン氏（アフガニスタン）は、「真の平和への導く、輝く道での長行進！」我国益と国民の全正当な権利の真の加害者たちによる、反社会的な悪質の目的に達成するため、あらゆる犯罪的な拷問と被害は私と私の全ての関係者に対する野蛮な増大的に続いています。
- 洪東杓氏（韓国）よりのメッセージ
「日本に戻ってくる機会があるかどうか分かりません。家内は中国生まれの朝鮮族で、同じ大阪大学の留学生の時、出会って結婚しました。2002年3月より研究員としてアメリカで3年ぐらい留まり、後は家内の故郷中国に行きたいと思っています。もちろん私はいつか韓国にも帰りたいです。
米山奨学会と学友会には大変世話になりました。
それでは、いつもお元気でいらっしやることを祈ります…」
- 張航飛氏は2002年1月1日より中国に帰国しました。

2001年度米山奨学生学友会 (関西) 会員名簿

2001年12月現在

奨学生の番号順で次の通り

重光 世洋	00066	朴 鍾 祐	02793	張 鑫 隆	06087	張 雷	07671
中山 勝富	00168	王 充 志	02796	黄 永 融	06089	陳 於 華	07673
上條 勝常	00170	吳 淑 芬	02798	柳 秀 林	06101	曲 楓	07678
林 錫 璋	00204	蔡 錦 玲	03054	李 載 旻	06112	賽音朝格図	07679
香島 明雄	00235	蔡 秀 娟	03059	張 震 華	06313	師 穎 新	07680
曾根 憲昭	00304	柳 政 和	03367	卢 蕾 華	06322	張 力 新	07681
郭 顯 榮	00372	李 東 東	03510	陳 婉 萍	06335	王 美 蘭	07684
郭許 瑤琴	00465	林 妙 音	03727	蔣 青 青	06336	塔 娜	07697
徳山 卓也	00497	朴 三 用	03750	李 灿 灿	06338	楊 竹 駿	08135
清河 雅孝	00577	金 寶 英	03752	李 玉 軍	06341	孔 俊 德	08193
林 茂 宏	00584	楊 克 儉	03841	李 振 軍	06348	韓 英 珠	08194
豊田 秋雄	00590	金 明 珠	04494	孫 榮 黎	06349	黄 貞 燕	08196
林 宏 作	00596	金 玉 善	04634	鄭 黎 友	06352	李 春 子	08204
東 正 伯	00651	羊 亜 平	04685	梁 榮 友	06620	黎 燕 生	08209
黄 文 彦	00690	桂 小 蘭	04707	李 殷 娥	06651	羅 瑞 恬	08212
藤岡 寧発	00729	劉 莉 莉	04713	莊 発 盛	06704	丁 槐 瑩	08220
宮崎 ちな(幸珍)	00734	洪 萬 杓	04817	潘 振 興	06722	高 笑 笑	08254
陳 玉 羆	00926	吳 佳 漣	04898	安 時 亨	06739	洪 東 均	08256
魏 栢 良	00972	段 煥 祥	04951	全 美 星	06758	許 慶 熙	08257
莊園 福松	00975	孫 寶 徽	04992	金 昌 爽	06772	張 鍾 旻	08258
羅 坤 燦	01066	李 文 英	05005	李 健 鵬	06782	金 善 美	08263
黄 光 前	01109	柳 成 林	05013	羅 瑞 添	06783	金 閏 七	08264
大田 一博	01122	曹 美 庚	05014	陳 章 祺	06831	李 瑞 竣	08266
南 俊彦	01135	李 惠 儀	05017	江 波 紅	06947	朴 美 京	08267
藤田 彰二	01139	崔 銀 珠	05097	朱 列 進	06973	表 桂 仙	08274
武田 維明	01140	孫 國 強	05099	劉 必 進	06974	王 碩 秀	08276
張 璧 東	01266	張 敏 敏	05158	湯 曉 宇	06977	禹 仁 洋	08279
鍾 雲 海	01279	伊力亜司比拉勒	05174	鐘 文 興	06978	劉 洋 儀	08283
吳 賢 龍	01409	林 勳 輝	05177	張 航 飛	07005	簡 施 嬉	08284
李 惠 玲	01538	張 曉 燕	05183	黄 莉 雯	07343	洪 明 植	08287
黄 晨 昌	01704	蘇 起 權	05187	簡 月 真	07386	朴 在 金	08289
竹田 淑恵	01752	張 起 權	05496	都 銀 珠	07387	徐 泓 隆	08296
李 麗 俞	01868	周 人 英	05497	韓 尚 憲	07389	蘇 琳 琳	08298
鄧 尚 昇	01893	姜 明 子	05517	洪 珍 熙	07390	王 萱 素	08299
早川 由美	02077	許 点 淑	05610	金 信 明	07395	楊 素 霞	08300
福山 嘉一	02236	李 承 桓	05621	賴 昱 誠	07396	姚 山 宏	08301
辛 嘉 靖	02260	林 紅 紅	05676	文 仁 赫	07401	亞森艾尼瓦尔	08302
高樹 亮一	02467	劉 春 江	05691	柳 濟 峻	07405	錢 鷹	08303
權 貴 玉	02475	国本 徐佳	05703	崔 美 淑	07407	金 正 官	08442
唐沢 宗良	02498	王 柏 森	05708	鄭 萬 哲	07408	文 元 鐵	08446
陳 麗 華	02739	鄧 祥 興	05757	吳 美 英	07412	鄭 熙 錫	08447
北山 玉翠	02741	黄 愛 玲	06057	邵 珮 君	07415	朴 貞 子	08448
施 學 昌	02786	賴 愛 華	06060	熊 德 富	07440	拜山 沙克	08486
姜 兌 欣	02791	李 美 淑	06061	高 仙 峰	07607		

張 澤 永 08903	金 大 弘 08965	董 愛 軍 08978	張 文 玲 08896
林 志 邦 08907	金 明 珉 08966	馮 政 森 08980	張 小 苑 08997
裴 永 己 08955	金 泰 子 08967	蔣 海 波 08983	韓 成 一 09163
莊 茜 惠 08956	林 志 煥 08969	李 忠 孝 08985	金 藝 蘭 09164
范 傑 08957	朴 用 軾 08970	李 基 旻 08986	任 苔 均 09165
葛 藝 08958	徐 輔 健 08971	林 賢 浩 08988	
韓 銅 珍 08959	單 谷 08972	劉 秀 梅 08989	
黃 女 玲 08962	尚 自 端 08973	童 文 燕 08991	
張 松 氣 08963	溫 雅 珺 08975	衛 萍 08993	
全 崇 鐘 08964	趙 京 華 08977	袁 熙 08995	

フィーノ, ジュゼッペ	01274	オストハイダ, テーヤ	06754
モータメド・エクテサビ, ミトラ	01906	ポダルコ, ピョートル・E.	06756
リー・ケン・チョアン	03170	ムジハンドコ, チャトル・ウィボウオ	07040
ザヤニ, モハメッド・ヘディ	03400	ルッジェリ, アンナ	07355
シュレスタ, ディネス・プラサド	03754	ウボンチャート, ジャルパット	07358
チョン・クン・ティー	04093	タンジュン, スパルト	07473
タバオ, ヘンリー・アグレス	04110	ニン・ユ・ユ・コ	07682
イルワン	05516	エベード, イハープ・アハマド	08252
ティン・エイ・エイ・コ	05707	グナワン, エディ・スジョノ	08255
アンディ・ウタマ	06042	カムシリ, ビンサライ	08261
リジャル, ホム・バハドゥル	06522	オソコール, オリガ	08270
ハサブラブ, ハミッド・モハメッド・A	06706	マラカール, ディポック	08990
ボストン, ルイ・ヘンリ・クワミ	06740	ブーンタナボン, ソムボン	09086
マルティヌス, アデ・ミルザンティ	06752		

相 談 コ ー ナ ー

学友会は留学生のために相談コーナーを設けました。さしあたり、次のような分野と担当者を決めました。ご利用ください。

法律関係：清河雅孝	〒607-8418 京都市山科区御陵牛尾町72-7	TEL：075-594-2029
		FAX：075-594-5249
税理関係：莊園福松	〒530-0014 大阪市北区鶴野町4	TEL：06-6375-1070
	コーポ野村梅田A-216	
マーケティング関係：吳賢龍	〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北一丁目6-20	TEL：06-6308-4070
		FAX：06-6300-5271

●テーマ：「私の好きな語録」

字 数：1,000～1,600字。顔写真、フロッピーディスク添付。

締 切：2002年11月30日

送付先：〒555-0001 大阪市西淀川区佃5-12-5-905 陳 麗華

TEL/06-6477-3240 (FAX同)

投稿者には図書券をさしあげます。皆様の素晴らしいエッセイをお待ち申し上げます。

編 集 後 記

前回の17号会報は、21世紀こそ平和の世紀にしたいというようなメッセージをOBを含めて米山奨学生たちから頂きました。しかし、始まったばかりの21世紀は人類史上最も衝撃的な事件が発生し、そしてそれに対する一連の行動が展開されました。いずれも我々が過去の世紀において期待していた21世紀と全く反対な方向に展開していきます。

21世紀に訴えたいことは何なのでしょう？今からまだ間に合うのでしょうか？我々一人一人の小さな力で、世界中の人々と平和に共存していくことはそれほど難しいのでしょうか？我々は努力しているのでしょうか？ロータリーの精神—四つのテストはそれを訴えているのではないかと改めて痛感します。

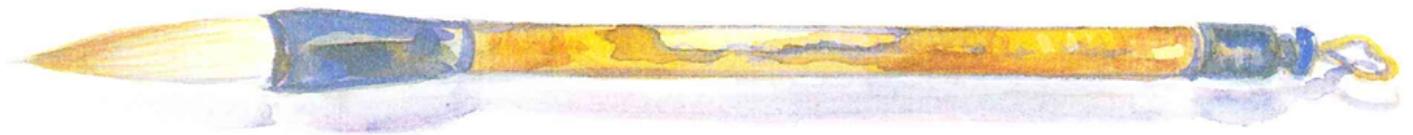
私たちは、小さな世界では、家族の誰かと対抗します。会社や学校へ行ったら、より大きな世界で誰かと対抗します。民族、宗教、国、そして思想の枠組みではそれよりももっと大きな世界で何らかの勢力に対抗します。我々の日ごろの努力は常に何らかに対抗するために大きな時間と労力を費やしています。あなたはそういう日々を送っていませんか？

米山学友として、当初の国際親善の心——初心をも一度思い起こして、世界中の人々との相互交流と相互理解を訴えていきたいと思います。今回の18号会報に、奨学生や会員に多くの素晴らしい作品を寄せて頂き、心から感謝いたします。

編集委員

陳 麗華
權 貴玉
王 充志
張 鑫隆
李 麗俞
莊 發盛

二〇〇一年十二月
編集代表 莊 發盛



ROTARY
YONEYAMA
SCHOLARSHIP
ALUMNI
ASSOCIATION